

桃山中学校は80周年を迎えます！



本校は昭和23年新川中学校と鵜ノ島中学校が統合され、ここ桃山台に、理想の学園を建設せんとする桃山中学校が創立され、文化の象徴であるオープンステージや、本校のシンボルである「群像」の建設、校歌、校章の制定など、幾多の歩みを積み重ね、今年創立80周年を迎えました。「日新日日新、美の創造、世界の拡大」を校訓とし、以来20,513名の人材を世に送り出しています。現在も全教室に掲げられている、初代熊本校長の建設の譜に「心と力をあわせ、理想の学園桃中を建設せん」という一説があります。炭鉱華やかかりし頃は2千人近くが在籍し、勉学はもとより部活動においても、NHK音楽コンクール全国大会出場、第1回全国中学校軟式野球大会準優勝等、文武両道の学校として山口県に桃山中あり、と名を馳せました。現在は全校生徒296名となりましたが、輝かしい伝統と精神は、現在の学校へも確かに受け継がれ「桃山プライド」として理想の学園を追い求めるべく「生徒全員がハッピーになれる学校」を全生徒が一丸となって進め、ウェルビーイングに生きる力を育んでいます。



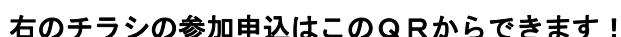
今年度、県の推進校の指定を受けています！

今年度から本校は新たなステージに入り、ふるさと山口の地域づくりに参画する人材を育成するため、県教育委員会から「あこがれの連鎖で紡ぐキャリア教育推進事業」推進校の指定を受け、現2年生の総合的な学習の時間を中心に、宇部工業高校、地域産業等と連携・協働してキャリア教育と地域連携教育を一体的に推進しています。すでに1学期から市役所や地域の方の出前講座を行い、motibase和泉代表による探究学習の基本も学習しました。そして次回10/15には100名の地域の大人との対話・交流を行い11/4の公開授業で最終発表を行います。これらの体験を通じて、これからの令和の時代に身につけるべき力を伸ばすため、探究学習を取り入れた新たなキャリア教育のモデルを進めてまいります。

これまでの顕著な学力観は主に記憶力や暗記力でした。しかしそれらが今や全てAIに取って替わろうとしています。つまり知識は全てスマホから瞬時に取り出すことが可能な訳です。これからの変化の激しい予測困難な時代には、興味、探究力、表現力、コミュニケーション力、社会性やセンスなど、AIにはできない様々な非認知能力を高め、知識から使える知恵にシフトし他者と協働・表現・発想するという能力が、これからの時代に求められるのではないのでしょうか。この活動を通して、子どもたちにこれからの令和の生きる力を身に付けさせたいと思いますので、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いします。【校長 糸本 康浩】



参加募集中！10/15開催トークフォークダンス



詳細はHPでも。 <https://www.ube-ygc.ed.jp/myi/>

